

2017年度 当初予算編成

教育環境の整備・拡充に重点



勝山 制 議員
(済々会)

《表-1：一般会計当初予算額および町税の推移》

(単位：千円)

年 度	当初予算額	対前年度比	町税総額	対前年度比
平成24年度	8,041,000	5.0%	3,682,080	0.7%
平成25年度	9,144,000	13.7%	3,742,735	1.6%
平成26年度	9,371,000	2.5%	3,934,518	5.1%
平成27年度	10,118,000	8.0%	3,996,427	1.6%
平成28年度	10,625,000	5.0%	4,061,469	1.6%
平成29年度	9,029,000	-15.0%	4,105,220	1.1%

《表-3：主な事業》

(単位：千円)

事 業 名	金 額
放課後児童健全育成事業	48,299
町立保育園運営事業	146,260
民間保育所運営事業	400,506
子ども医療費支給事業	185,670
児童手当支給事業	602,820
給食センター基本計画策定等事業	37,890
小学校改修事業	53,625
中学校改修事業	25,386
住民税1%町民予算枠事業	14,431
道路補修事業	60,776
橋梁補修事業	25,344
阿久比排水機場整備事業	22,491

《表-2：平成29年度 税目別当初予算額》

(単位：千円)

税 目	当初予算額	対前年度比
個人町民税	1,646,036	42,288 2.6%
法人町民税	189,161	-43,935 -18.8%
固定資産税	1,720,441	52,738 3.2%
軽自動車税	63,156	-2,038 -3.1%
町たばこ税	197,270	-10,010 -4.8%
都市計画税	289,156	4,708 1.7%

問 予算編成の特徴と基本的な考え方。
答 最大の特徴は、課題である児童数の急増対策で、子どもへの福祉・教育、子育て支援に重点を置いた。
一般会計の予算総額は、90億2千9百万円（前年度比15%減）だが、新庁舎建設前の平成24年度予算と比較すると、約10億円の増額で、積極的な予算編成となっている。

問 歳入（各税と前年度比）の推移と、歳出（主要事業）の予算。
答 表1から表3のとおり。

問 重点施策と主な事業、およびその趣旨。
答 町立保育園関係では、保育士や臨時保育士の増員と待遇改善および園舎の改修などに予算を拡充。新規に、民間保育所が1園開園となる。
放課後児童健全育成事業（学童保育）は、JA支店跡を買い上げ、改修、移転する。
小・中学校は、トイレ改修の実施と、校舎の長寿命化の予算を拡充。
小学校の全児童を対象に、キャップ型防災ヘルメットを配備する。
学校給食センターの新設に向け、基本計画策定費用を計上した。
福祉政策では、民生委員を補佐する「民生委員協力員」を配置する。
愛知県植樹祭が本町で開催となるため、町植樹祭の同日開催を図る。

《表-4：主な新規事業》

(単位：千円)

事 業 名	金 額
放課後児童健全育成事業の内、施設改修事業	12,747
給食センター基本計画策定等事業	37,890
民生委員協力員配置事業	792
町道4035号線道路改良事業	15,000
愛知県有料道路コンセッション関連事業	10,342
県・町植樹祭事業	9,202
阿久比プレイガーデンプロジェクト事業	4,968
女性消防団員活動事業	1,246
ロコモティブシンドローム予防事業	344

問 予算を縮小または廃止する事業。
答 新庁舎建設事業では、19億7千万円が工事完了により減額となる。
他に、単年度事業で廃止となるものもあるが、住民サービスの面で、予算の縮小や廃止はない。

問 新規事業と、その予算規模。
答 表4のとおり。

問 財政調整基金と町債の状況。
答 財政調整基金の29年度末残高見込みは、14億8千66万円。
町債の29年度末残高見込みは、90億4千9百84万円となる。

問 町長4期目の公約である主な事業の進捗状況と、新年度予算へ反映。
答 大きく6項目の公約を掲げたが、概ね進んでいる。引き続き、名古屋（N）・阿久比（A）・三河（M）との連携を進め、住みやすく、富める町「田園町富」をめざす。

有料道路コンセッション関連の、「愛知多の大地」構想による町の活性化に向け、チャンスを見逃すことなく、積極的に関わっていく。
(注) 文章中の金額表示は、1万円未満切捨て